

| | | | | | |
|------|-----|---------------------|------------------------|----|----------------|
| 部課室名 | 砂防課 | 記入責任者職氏名 (担当者氏名) | 砂防課長 森脇 康仁 (木戸 徹) | 内線 | 4459 (4465) |
|------|-----|---------------------|------------------------|----|----------------|

| | | | | | |
|---|------|--|---|-------------|-------------|
| 事業種目 | 砂防事業 | 事業名 | 事業区間 | 総事業費 | 1.3 億円 |
| | | 通常砂防事業 寺谷川 | | 内用地補償費 | 0.2 億円 |
| 所在地 | | | 事業採択 予定年度 | 着工予定 年 度 | 完成予定 年 度 |
| 佐用郡 佐用町 上石井 | | | 19年度 | 19年度 | 22年度 |
| 事業目的 | | | 事業内容 | | |
| 土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産、災害時の避難所である上石井倶楽部・石井体育館、多目的宿泊施設である「ゆう・あい・いしい」及び町道等を保全する。 | | | ・砂防えん堤工 1基 (H = 8.0m, L = 50.0m) 〔負担割合 国:1/2、県:1/2〕 | | |
| 評価視点 | | 評価結果の説明 | | | |
| (1)必要性 安全、安心 | | <ul style="list-style-type: none"> ・寺谷川は土石流危険渓流である。 ・平成16年9月の台風21号により、渓岸の浸食が進むなど流域内も広範囲に荒廃しているが、砂防設備は未整備である。 ・流域状況は急峻な地形で渓岸の浸食が激しく土石流発生の危険性が高い。 ・保全対象: 人家 = 7戸、公共施設 = 上石井倶楽部(避難所)、石井体育館(避難所)、ゆう・あい・いしい(多目的宿泊施設、利用者数12,000人/年)、ゆう・あいドーム(多目的屋内場、利用者数1,300人/年)、町道、田畑 = 1.28ha | | | |
| 地域の活性化 | | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の生活道路である町道を保全することにより、地域間の交流に一層寄与する。 ・豊かな自然の中で、人々との交流やスポーツを楽しみ、身も心もリフレッシュできる施設、ゆう・あい・いしい、ゆう・あいドームを保全することにより、年間1万人以上の利用者を集め、地域の活性化に寄与する。 | | | |
| 快適性・ゆとり | | <ul style="list-style-type: none"> ・えん堤設置により、下流域への土砂氾濫を防止し、住民に安全で快適な生活を提供する。 | | | |
| その他 | | <ul style="list-style-type: none"> ・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。 ・山村振興指定地域及び過疎対策法対策町に該当し、えん堤工の整備により条件不利地域の安全性向上に寄与する。 | | | |
| (2)有効性・効率性 有効性 | | <ul style="list-style-type: none"> ・人命・財産(人家7戸)、災害時の避難所である上石井倶楽部・石井体育館、多目的宿泊施設「ゆう・あい・いしい」及び町道が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。 | | | |
| 効率性 | | <ul style="list-style-type: none"> ・町等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である。 | | | |
| (3)環境適合性 | | <ul style="list-style-type: none"> ・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、法面緑化を図るなど環境保全に努める。 | | | |
| (4)優先性 | | <ul style="list-style-type: none"> ・土石流の想定被害区域には人家7戸、災害時の避難所である上石井倶楽部・石井体育館、多目的宿泊施設である「ゆう・あい・いしい」及び町道等がある。 ・流域状況は平成16年9月の台風21号により荒廃が進み、土砂流出の危険性が高く、上石井地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。 | | | |